

ぶどうの栽培管理を省力的に

～船橋市・鎌ヶ谷市・松戸市合同ぶどう省力化検討会の開催～

東葛飾農業事務所改良普及課 令和3年7月1日発

東葛飾地域のぶどう生産者は、梨とぶどうとの複合経営が多く作業の時期が重なるため、省力化が課題となっています。そこで農業事務所では初めての試みとして、6月15日に船橋市、鎌ヶ谷市、松戸市のぶどう生産者と合同で、「作業の省力化」をテーマにした現地検討会を開催したところ、生産者10名の参加がありました。

当日は各市1園のぶどうほ場を視察し、各園主から効率的な雇用労力の活用方法やジベシリン処理に使う道具、樹形の仕立て方などの省力化技術が紹介されました。また、紹介された技術について参加者間で意見交換を行うなど、市を超えた有意義な交流ができました。参加者からは、視察園を参考にしてぶどうの栽培面積を増やしたいとの声があり、ぶどう栽培に対する高い意欲が伺えました。

今後も農業事務所では、ぶどうの省力的な栽培に向けた技術支援を行っていきます。



栽培管理について活発に
意見交換がされました



省力的な作業ができる
ぶどうの短梢無核栽培